

平成30年度江田島市行財政改革審議会要点録（意見概要等）

日 時	平成31年4月18日（木） 13時30分～15時30分			
場 所	江田島市役所4階401・402会議室			
出 欠 (委員)	氏 名	役 職 等	備 考	出欠
	堂野崎 平	江田島市社会福祉協議会会長		出席
	平田 圭司	江田島市商工会会長		出席
	胡子 雅信	江田島市議会総務常任委員会副委員長		出席
	吉野 伸康	江田島市議会文教厚生常任委員会副委員長		出席
	沖元 大洋	江田島市議会産業建設常任委員会副委員長		欠席
	上平 毅	広島県地域政策局市町行財政課長		出席
	小跡 孝廣	江田島市自治会連合会会長		出席
	山下 忠子	江田島市食生活改善推進員協議会会長		出席
	三島 雅司	江田島市教育委員会教育長職務代理者		出席
	内村 浩	中国化薬株式会社江田島工場取締役工場長		出席
	濱松 由紀子	江田島市女性会連合会会長		出席
	植野 建二	広島銀行大柿支店長		出席
	仁城 靖雄	江田島市総務部長		出席
江郷 壱行	江田島市企画部長		出席	
(事務局)	明岳市長，土手副市長，前田財政課長，矢野総務課長，保手濱課長補佐，山下専門員			

次 第

- 1 開 会
- 2 委員紹介
- 3 会長・職務代理者の選出
- 4 議 題
 - (1) 第3次江田島市行財政改革実施計画の進捗状況について
 - (2) 事務・事業評価について
- 5 その他
- 6 閉 会

1 開 会	
事 務 局	(委員の半数以上が出席(14名中13名)のため、審議会は成立)
市 長	<p>この行財政改革審議会は、江田島市の行財政の合理化、そして効率化を推進するために、条例で設置した大切な附属機関です。市長の諮問に応じ、行政組織、職員定数、給与、事務事業全般にわたり、皆様方の御意見を幅広くいただくという審議会です。</p> <p>平成18年の3月に第1次江田島市行財政改革大綱を策定し、5箇年ずつ計画を策定しています。現在の第3次江田島市行財政改革大綱は今年度までの実施期間となっており、今年度見直しをすることとなっています。</p> <p>本市の最重要課題は、人口減少をいかに抑制していくかということにかかろ</p>

市 長 (続き)	<p>うかと思っています。国勢調査が昭和 22 年に初めてありましたが、そのときの人口は 6 万 3 千人を超えていました。今や 2 万 3 千 5 百人を切った状況で、戦後ずっと減少し続けているというのが江田島市の特徴です。</p> <p>2008 年、平成 20 年から、日本の人口そのものが 1 億 2 千 8 百万人くらいから減少し続けていますので、増やすということは非常に難しいです。江田島市は年間 5 百人以上が減少していますので、人口減少幅を少しでも抑えていくことが、江田島市が存続する鍵になるかと思っています。そういった意味で、行財政改革も必要なものとなってきますし、そうせざるを得ない状況が今だと思っています。</p> <p>とは言え、合併して 15 年目を迎え、ここ数年、合併建設計画に基づく投資的な事業、認定こども園えたじまや認定こども園のうみ、消防庁舎や能美出張所の建設等、いろんな建物を建設する時期に当たっています。これに伴い、市債借入も増えています。ただしその市債についても、合併特例債という、いずれは交付税で返ってくる有利な市債を借りるという手法を取っています。</p> <p>市の負担を軽減しながら財政運営していく、そういったことに取り組んでいかなければならないと思っていますが、人口が減る、税収が減るということになると、今のサービスを維持することがいかに困難なのか、私はそれを実感しています。その困難さは市民の皆さんと一緒に共有して、市民の皆さんと一緒に取り組んでいかなければならないと思っています。</p> <p>まずは雇用の創出、そして子育て環境の整備、そして健康寿命の延伸ということで、この 3 つは継続して、1 つずつ成功事例を積み上げて、必ずやこの人口減少の抑制の実現を、皆さんと共にやっていきたい。その一助となりますというか、大切な御意見をいただくこの審議会です。</p> <p>皆様方、日頃から思っておられることを忌たんなく発言いただいて、より良い江田島を共に創るという思いで、この審議会に参画をお願いしたいと思います。(市長退席)</p>
2 委員紹介	
事 務 局	(委員紹介・事務局紹介)
3 会長・職務代理者の選出	
事 務 局	(堂野崎委員を会長に選出、平田委員を職務代理者に指名)
4 議 題	
(1) 第 3 次江田島市行財政改革実施計画の進捗状況について	
会 長	<p>この審議会は年に 1 度の審議会ということで、先ほど明岳市長からも重要な審議会ですというお話がありましたが、なかなか年に 1 度の会議ということで、内容を詳しくというのは難しいと思います。</p> <p>日頃、市と関わりのある中でお気づきのことがあったら、こういった機会にしっかりと意見をいただきたいと思っています。</p> <p>それでは事務局から説明をお願いします。</p>
事 務 局	(資料 1-1 及び 1-2 により説明)
会 長	今説明をいただきましたが、御意見、御質問等がありましたら、挙手をいただきたいと思っています。

委 員	<p>資料1-1の11、公共施設の整備の推進のところにあるのですが、能美市民センター、高田交流プラザができており、次が鹿川交流プラザを作る計画となっています。</p> <p>調理室のことですが、沖美市民センターを建てられたときに、利用者からものすごく使い勝手が悪いという意見が出ました。その後、能美市民センターの調理室も見せてもらいましたが、皆さんが使うのに困っている部分がたくさんあります。こういう利用者の声をどの程度聞かれたのかなと思います。</p> <p>今度鹿川をやるときは、是非使い勝手の良いものを出して意見を聞かせてもらっています。本当に利用する人の意見を聞かれて作ってほしいという思いがあります。</p>
事 務 局	<p>調理室の件ですが、竣工した後、流し台に大きな羽釜が入らないということで、この度一部増設させていただきました。</p> <p>同じ費用をかけるのであれば、実際に使われる方の御意見を取り入れながら施工していくのが、ごもっともな意見だと考えています。</p> <p>財政課としましては、使う方が使い勝手の良いものということであれば、ある程度設計ができた時点で、原課から関係団体へ調整を図れないかどうか、内部で協議させていただきます。</p>
委 員	<p>アウトソーシングについてなんですが、外部に委託するというのを、各課の事業で検討を行っています。その検討の内容がよく分からないのですが。</p>
事 務 局	<p>昨年度、アウトソーシングの意見としてありましたものが、社会体育施設への指定管理者制度の導入、保育施設の民営化、給食施設の民営化、前処理センターの直営あるいは委託の比較検討、都市整備課における市営住宅の指定管理者制度の導入効果などが、アウトソーシングできるのではないかとこの事業として挙げられています。</p> <p>その他、各種計画の策定について、専門的な知識を必要とするものについては、民間に委託を出したらどうかという意見を、各課では持っているようです。</p>
委 員	<p>金額的な部分でどうか、内部でやるのではないかと、外に出した方がいいのか。能率的には良いですね。</p>
会 長	<p>経費的なところでアウトソーシングしたら良いのではないかと、どんな経費の削減になるのかという質問だと思います。</p>
事 務 局	<p>具体的に経費がいくらという比較のところまではいっていないのが現状です。その辺りを含めて、今後検討が必要になってくると考えています。</p>
会 長	<p>公共施設の再編ということで、先ほど市長から合併特例債を使ってということでしたが、市の財政が非常に厳しい中で、第三者的に見ていると、認定こども園を作ったり、市民センターを作ったり、すごく良いのですが、お金があるのかなというの、ものすごく不安に思うのですが、市の当局として、財源が将来的に、いろんなものを作って大丈夫なんでしょうか。</p>
事 務 局	<p>事業を行うに当たって、合併特例債を利用しています。これは、事業費の95%に起債を充てることができ、7割の交付税措置があるということで、かなり有利な借金ということになります。</p>

<p>事務局 (続き)</p>	<p>平成 31 年度に合併特例債の発行期限を迎えることになっておりましたが、この度平成 36 年度まで延長されました。</p> <p>市民サービスのために必要な施設は老朽化しております。統廃合、再編整備を行いながら、当然、市民サービスの向上のために、施設整備を実施しなければなりません。</p> <p>市は財政調整基金など、いろいろな基金を持っています。その財源をいかにしながら、交付税もいただきながら、皆様の御意見をいただきながら、真に必要な施設を平成 36 年度までに実施していく。そのためには、多少は財源がいるのは確かですが、発行期限を過ぎれば、全額がほぼ市の負担となります。</p> <p>協議を進めながら、必要不可欠なものについては平成 36 年度までに実施していき、なおかつ有利な起債を充てていく、それで市の財源が減らないように考えています。</p>
<p>委員</p>	<p>No.6 の「市民ニーズに対応した人材育成と組織体制の構築」で、1-1 の資料で説明いただきましたので、これは重要な項目だろうと思うのですが、平成 31 年度の満足度ポイントの目標が 60 点、平成 29 年度時点で 55.5 点ということで、この伸び率から考えて、平成 31 年度 60 点は到底届きそうにないところですよ。</p> <p>この 5 年間の活動の中で、毎年活動の中身を見直して、少しでも効率的な活動にするべきだろうと思うのですが、どのような活動をされていますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>職員研修は総務課でやっているのですが、今は職階に応じた研修を行っております。管理職研修であったり、係長級であればコミュニケーション・マーケティングという研修をやってみたり、ホスピタリティ・おもてなしといった研修を行っています。</p> <p>毎回研修を受けた職員にアンケートをしており、その結果を踏まえて、このような職員研修が望ましいのではないかとといったものがあれば、その意見を参考にさせてもらって、翌年度の研修に反映しています。</p>
<p>委員</p>	<p>うちの工場でいろんな研修を外部に出すのですが、あまり役に立っていないというのが実情で、研修に行き行って聞いてくるのですが、実際に自分で実施できるかということが一番大きい。工場では、OJT（オンザジョブトレーニング）で、先輩がしっかり指導して教えるというのが一番効果的です。</p> <p>点数が上がっていないところで、なぜ上がっていないのかということをもう少し分析されて、研修だけに頼るような活動でないものが望ましいかなと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>アウトソーシングの積極的な利用ということで、担当課からいくつかリストアップした事業があるということですが、これは資料 1-1 の 3 ページに、28 年度にリストアップした事業ということですよ。</p> <p>もう既に 30 年度も終わりました、1 年 1 年どういった検討を、ただリストに名前を挙げただけなのか、それとも今後いつまでにこれをアウトソーシングするかしないかを決定するのか、これはどういうふうに対応されているのかということをお聞かせいただきたいと思います。</p>

事務局	<p>アウトソーシングにつきましては、どこまで進んだのかというと、まだ内部でリストアップした段階です。</p> <p>例えば保育施設の運営を民間に出す場合、保育サービスの低下があってはならないことです。福祉保健部でしたら子ども・子育て会議がございます。調査研究した上で、メリットとデメリットを踏まえて、会議に諮らせていただき、そこで煮詰めていくということを考えています。</p> <p>安いからすべてそっちにきなさいというわけにはいかないと思います。サービスの低下があってはならないことですので、それらを各部局におきまして、今から煮詰めていくという状況です。</p>
委員	<p>そうすると、今この第3次行財政改革の期間内には、例えば1つのものがアウトソーシングされるということは、もう難しいようですね。もう1年しかないので。これは引き続き第4次での検討材料ということになるのかと思いますが、いかがですか。</p>
副市長	<p>項目をいくつか挙げ、それに向かって検討している中で、ハードルが高いものもあります。そうした中で、あと1年ということになっているので、次の大きな課題になってくるのではないかと思います。</p> <p>ある程度進んでいるところもあります。公営住宅の管理の関係につきましては、今年度方向性を出して、アウトソーシングに出していくのか、直営でやっていくのか。そこらの部分は戸数によって、千戸以上になるとアウトソーシングに出す方が効率的という成果が、大きな市町では出ています。と言いましても、戸数が少ないと職員で対応した方が良いという面もありますので、公営住宅につきましては今年度、その辺りの見極めをして、出していこうと思っています。</p> <p>保育施設については、今年度、子ども・子育て会議の次の計画を作っていく中で、次の保育施設の民間委託という部分の方向性を出していくのであれば、次の大きな課題の中で検討していくことになると思います。</p> <p>給食センターについても、もう2年くらい前からいろいろ検討しているのですが、やはり費用対効果とか、保護者の方の意見とか、そこらの整理に時間がかかっているというのが課題ではあります。</p> <p>次の計画には、その辺りの重点的な課題を挙げていきたいと考えています。</p>
委員	<p>それぞれの事業で、保育であれば子供さんの成長というところもあるし、給食センターであれば食育の問題など、すごく慎重に考えなければいけないということが良く分かりました。</p> <p>あとは公営住宅ですが、これまで合併してから、修繕に億単位の金を使ってきました。一方で近年は、市内各所で、民間企業がアパートメントをやっているところがあります。</p> <p>行財政改革という中で、ハードを持つことで維持管理費が莫大にかかってくるので、例えばどこそこの町は、公営住宅に入る所得の人に対して、民間アパートに入るための家賃補助をやっているところがあります。ハードを持つと維持管理費で、修繕も含めてかなりコストがかかるので、今のアウトソーシングだけではなくて、そういったところの検討もしていただければと思います。</p>

委員	<p>これだけ取り組まなければならない事業がある、イコール課題の塗りつぶしということで、改めて大変なことだと思っています。</p> <p>今年は最終年度ということもあって、うしろの資料でもありますが、P D C A、これは私自身、あるいはどこの世界でもそうだとは思いますが、企画立案・事業実施というところまではできるのですが、点検・改善の部分について、やるのが成功するかどうかはわからない話ですが、やった後、もし何かがあるのであれば、それは改善していく、これを最終年度ということを見据えながらやっていくことが、行政の御努力と、市民の税金が納得性のいく、報われる形になるのかなと思います。一般的な話ですが、引き続きお願いしたいと思います。</p>
委員	<p>31 ページのNo.39、協働のまちづくりの推進となっています。この中で、住民自治組織の整備となっています。</p> <p>まず1点目、まちづくり協議会というのを、国の指示のもと、各地域において順次整備されてきています。現在数地区ほど、まだまちづくり協議会が設立されていないと伺っています。</p> <p>このまちづくり協議会の補助金が昨年度から大幅にアップされ、それに伴い、決算報告といったものがものすごく細かく、専門的な知識がないと報告できないようなシステムになっているようです。地域住民の方がこの処理をしていくということについては、ものすごく負担になり、それで役員になりたくないということがありました。これの決算報告とか申請方法とかいったものを、今一度見直していただき、簡単に報告できるような方法を考えていただきたいと思っています。</p> <p>もう1点について、特に江田島町の中央地区ですが、ここには旧4つの地域の名称（中郷・向側・矢ノ浦・山田）があります。これが「中央地区」というように、今は一般的には言われています。4つの地域に4つの自治会があるのですが、話を聞くとところでは、中央地区については将来的に、1つのまちづくり協議会として統合していく思いがあるというのを、まちづくり協議会設立時に聞きました。これらのことについて、現時点でわかっている範囲内で結構ですので、説明いただきたいと思っています。</p>
会長	<p>私は中町地区でまちづくり協議会の事務局をしています。報告がものすごく大変です。それを一般の方ができるのかというのを、私もものすごく感じています。例えば他所の市町だと、地域を自治振興区にして、そこで人件費をある程度出して、事務局をやってもらっているという状況があります。うちは仕事の合間にやれるような事務量ではありません。事業をすればするほど、膨大な資料が必要です。領収書を全部添付するということで、ものすごく大変です。</p> <p>それともう1つ、自治会とまちづくり協議会が一緒というところがあり、自治会でやっていた事業をまちづくり協議会でやると、市の補助金が重複するということがあります。それも私は少し無駄があるのかなと。まだ全部が立ち上がっておらず、あと4つか5つ、立ち上がっていないという話を聞きましたが、そういったことも、もう少し見直しをしていって、補助金を有効に使うということも、考えていく必要があるのではないかと思います。</p>

事務局	<p>まず各自治会、まちづくり協議会の決算書類の提出についてですが、公金をそちらの団体に向けて支出するという事になれば、監査委員の監査を受けることとなります。公金を支出するという事になると、適正な決算書類、申請書を出していただきたいというのが、財政課の願いではあります。</p> <p>担当課は、補助金支出団体に対し、例えば多額の不用な剰余金等が発生していないかなど、決算内容が正しいかどうかを精査します。それらをチェックするために、最低限必要な書類は出していただきたいというのが、様式として表れているところです。</p> <p>おっしゃるとおり、民間の、それも経理などやったことがない方が、それらを作成することが難しいのも、よく分かります。団体によれば、市の担当課へ行き、書き方の助言等を受けることもあります。</p> <p>提出物が多いとか、様式が煩雑であるとか、そういった様式の部分はもう一度精査させていただき、不要な項目については削除して、監査委員事務局とも話しながら、検討していきたいと思います。</p>
委員	<p>要望だけ言わせてもらおうと、先ほど言ったように、会計の方がやっていると思うのですが、事務をしたことのない人が会計処理をする自治会もあると思います。そうすると、専門的な言葉とか、右から左に移したり、左から右へ移したりするというのが、ものすごく煩雑になって、分からなくなってしまう。だからこの担当課へ足を運んで教えてもらおうというようなことが起きているのではないかと思います。</p> <p>見直すというのではなくて、検討していただけるのであれば、なしにしてくれるとは言いませんが、できるだけ簡単に処理ができるようにお願いします。</p>
会長	<p>私も同じような要望ですが、できるだけ事務局の体制を整備する予算というものを、もう少し増やしていただくか、市の地域担当の職員がいますが、そういったところである程度その事務をしてもらおうとか。他所ではそういったところがあります。先ほど言った公民館活動の職員と館長さんが何人かいて、事務をほとんどやってもらおうとか、そういうところもありますし、そこには確か5百万円くらいだったと思いますが、そういった予算を入れています。</p> <p>やはりまちづくり協議会とか自治会とかいうのは、事務局の体制がしっかりしていないと長続きしません。そのうちやる人がいなくなり、消滅したということになりかねないので、ぜひそういったところの各まちづくり協議会・自治会の苦悩を、もう少し理解していただければ、そういったことも活発にできるのではないかと思います。検討も少ししていただければと思います。</p> <p>もう1つ、中央地区のまちづくり協議会の将来像がある程度分かっていたら聞きたいという質問でしたが、どうですか。</p>
副市長	<p>自治会というのは、それぞれの自主的な運営の中で歴史を持ったところですので、そこへ行政が一緒になってくださいというのは、なかなか難しいところです。まちづくり協議会については提案型で、地域で年間を通していろんな行事をやっている、行事に対して市が支援をするということで、まちづくり協議会の補助金を出させていただいています。</p>

<p>副市長 (続き)</p>	<p>先ほど言われた中郷・向側・矢ノ浦・山田、それぞれに歴史があって、今の自治会でやられていく中で、これから時間が経過し、人口減少等により地域で運営が難しいので、一緒になっていくというのであれば、それは自然な形の中で進めていただければという感覚です。市から一緒になってくださいというのは、自主的にされている組織ですので、そこまではなかなか…。</p> <p>会計報告についてですが、私の方にもいろいろ意見をいただいております。市の税金で補助金を出させていただいている中で、最小限の書類は必要になりますが、報告のやり方がちょっと複雑なようです。最小限の中でできるような様式を考えるか、先ほど言われたような事務局の体制的なものを少し補強していくか、あと旧4町それぞれに支援員を配置していますので、そこらで対応させていただくか、そういった形の中でどれが運営しやすいかというのを、今年度の課題として、来年度の実績報告までには検討していきたいと考えています。</p>
<p>委員</p>	<p>資料1-2の32ページ、定員適正化計画について、高齢化社会になっていますが、これからまだ進むことと思います。その中で法律が変わり、また条例も変えていかなければならない。そういうところには専門職といっても、随分変わっていくことと思います。</p> <p>それで、各課において、バランスが取れているかどうか、その辺りも疑問がわくところではありますが、昨年の7月6日の災害の時に、こちらに電話してもなかなか来られない、それはやはり事業課の技師の不足ではないかと、すごく感じたわけです。これから市として、どういうふうにバランスを取ってやっていくのか、お聞きしたいと思います。</p> <p>それとその次のページ、ラスパイレス指数がありますが、県内で12位がずっと続いて、恐らく指数が低いところというのは県北か島しょ部だろうと思うのですが、29年までが12位で、31年になると7位に計画する、それはちょっと無理ではないかと思えます。その辺りをどのように思われていますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>最初の定員適正化計画に基づく計画的な人事管理というところですが、言われたとおり、技術職の職員の確保が難しいです。昨年度も採用に当たっては、なかなか新規採用職員の確保が難しかったです。定員適正化計画は昨年度見直しを行って、36年度までに345人という職員数になるように計画を立てているのですが、昨年度末に職員定数モデルが発表されましたので、それに照らし合わせて計画の研究・検討させてもらいたいと思います。</p> <p>今の住民のニーズのところもあり、権限移譲や法律の改正などにより、今の職員数でやっていくのが難しいところもありますので、今の定員モデル計画で研究・検討のところと併せて、職員の採用は考えていきたいと思っています。</p> <p>ラスパイレス指数ですが、昨年、平成30年の発表で、1つ上がって11位となりました。委員の言われるとおり、私たちより下のところは、市で言えば三次市と庄原市ということになっています。</p> <p>随分上がったのですが、ラスパイレス指数の方も少しずつ上がっていきまして、11位と言いながらも98.4まできましたので、その辺は昇給に向けても改善がある程度は進んできているかと思っています。</p>

委 員	98.4 だと結構いいところですね。100 以上になったらいろんな問題が起きると思いますが、98.4 で 11 位といたら、100 以上が結構あるということですか。
事 務 局	100 を超えているところが 7 市あります。呉市、竹原市、尾道市、福山市、府中市、東広島市、安芸高田市の 7 市が 100 を超えています。
委 員	<p>先ほど、まちづくり協議会の話がありましたが、江田島町以外は小学校区に 1 つ、まちづくり協議会があります。能美町が 3 つ、鹿川はまだできていませんが。沖美町はたくさんの単位自治会がありますが、沖まちづくり協議会と三高まちづくり協議会、この 2 つしかありません。</p> <p>そういった意味で、議会の中では、自治会単位でないところもあるので、補助金の適正な交付という部分で不公平感があるのではないかという意見を出す議員が、中にはいるということも、一応参考までに。</p> <p>それと先ほど、ラスパイレス指数ということが出てきました。行政に携わっていない人はどういう意味かということでしょうが、国庫公務員の給与を 100 と見た場合に、それが何%かと、江田島市の場合は 98.4%なので、国家公務員を 100 とすれば、それより少し低いということです。</p>
副 市 長	<p>自治会の方からそういった意見がありまして、2 年前に補助金の出し方に不公平感がないように整理させていただいて、その時に会計のところをかなり厳しく改正したものですから、負担感が出ておられるのではないかと思います。</p> <p>補助金については、それぞれにうまく配分させていただいており、自治会の代表の方には了解をいただいております。</p>
委 員	<p>私が思うのに、若いお母さんや子どもさんたちが、この江田島に住んでよかったな、いいところだなというところが、あまりないのでは。今からどこに行こうかといっても、行くところがない。他所には大きな遊具など、皆が集まる場所があります。江田島市にもそういうところが欲しいです。</p> <p>今度シーサイドのところのホテルができますが、あの前の辺りを中心にして、皆さんが集まれるようなことを計画してもらえないかなと思います。</p>
委 員	<p>12 番の小中学校の適正配置について、地元の柿浦小学校がこの度閉校になりました。加配措置もされており、統合になって良かったという意見を、地域の方は持っておられます。</p> <p>三高中学校の場合、とても難しい状況にあると聞いています。能美中学校の校舎ができるときに、そこへ統合していくということであったと思いますが、住民の合意が得られないということで、説明会を続けられているのかどうかということについて伺いたいと思います。</p> <p>この表によると、30 年度が統合前、31 年度が統合という形になっていますが、前年度になれば、教員配置などが必要になるので、それもなされているのかというのも重ねて教えてください。</p> <p>あわせて、校舎の老朽化について、統合が延びていると、その間の校舎は老朽化していったら、安全対策はどうなっているのかという気もします。</p>
委 員	説明会ですが、能美中学校が完成する前年に 1 回説明会をしましたが、とても統合という話にはならないという雰囲気でした。それで 1 年間ブランクがあっ

<p>委員 (続き)</p>	<p>たのですが、全然手を付けないというわけにもいかないのです、PTAを中心とした話し合いは毎年してきましたが、なかなか進まない。市長が代わり、子供のためには統合を進めるべきだという話が、総合教育会議の中で出てきたので、教育委員会としてもずっと説明会を続けてきています。</p> <p>いつまでに統合するのかと言えば、説明会ばかりでは目標が立てられないだろうということで、最初は30年度統合ということで話を進めてきましたが、合意が得られなかったため、今年度説明会に全力を尽くして、31年度末に統合という形に持っていかうという目標を立てたということです。通常の学級編成なので、教科による加配はありますが、統合による加配はありません。</p> <p>耐震の関係ですが、おっしゃるとおり心配はありますが、統合対象校となっており、耐震化をすると20年くらいは校舎を壊すことができないということになるので、今すぐお金をかけて耐震をする状況にはないという現状です。</p>
<p>委員</p>	<p>14ページの広域連携について、総務省では、連携中枢都市圏の制度について、将来的に人口が減少していく中で、自治体単位で、フルセットで行政サービスを提供するのが難しくなっていく中で、圏域制度と言いまして、一定の圏域を1つの行政単位に近いようなものに法律上位置づける法改正が検討されているところです。</p> <p>そういった中で、1つの大きな受け皿となるのが連携中枢都市圏と言われていますが、どのような形で関わられて、23の取組を上げられていますか、どういった分野で参画されようとしているのかが分かれば、教えていただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>31年度の新規事業としましては、買い物の際の交流促進のポイント制度を実施しています。その他は、例えば病児保育をどこの市町でも受けられるとか、そういった行政サービスの相互利用については従来どおり続けています。</p>
<p>委員</p>	<p>効果を算定する指標で、当初予算を比較されていますが、これはどこの自治体もそうなのでしょうか。当初予算の比較となれば、建設事業が多くあり、それが終われば効果があったということになるのではないですか。</p> <p>例えば小学校が統合した場合、それに対する財政的な効果がどうだったのかというのが、本来の公共施設統合の効果ということになるのですが、そういう数値が出せないのかと思います。</p> <p>それから目標の設定で、ラスパイレス指数が7位ということですが、7位になるなら100%を超えても良いのかということも出てくるかと感じます。もう少し具体的な目標設定の仕方を考える必要があるのではないかと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>ラスパイレス指数のところですが、総務課が組合（職員組合、自治労）と話をする中で、ラスパイレス指数を100に近づけてほしいという要望があります。</p> <p>その中で、なかなか100に近づけなくても、県内14市の中位くらいには来てもらいたいという思いもあって、7位という設定になっています。</p> <p>7位なら100を超えても良いのかということになれば、それはまた別の問題になってくるので、そこは超えない範囲内で努力したいと思います。</p>
<p>副市長</p>	<p>申し訳ないのですが、昨年度、行革の評価の仕方が非常に分かりにくい、指標として本当に効果があったのかどうかも見えにくいという御指摘があって、検</p>

副市長 (続き)	<p>討しておきますと回答していましたが、本年度も同じようなこれまでの計画の見直しということで、提示させていただいています。</p> <p>次の計画が32年度から始まりますが、こういった出し方で良いのか、そうではなくて、先ほど意見があったように、効果額が具体的にどのくらいか、見たらわかるような様式を研究させていただき、次の計画では、より皆さんに分かりやすい資料づくりを考えていきたいと思います。</p>
委員	<p>資料が平成29年度予算との比較になっています。これは決算と比較していかないと、予算から最終的にぶれることがありますので、決算との比較を検討していただければと思います。</p>
会長	<p>18ページの各種補助金について、1つ具体的にいうと敬老会補助金ですが、ずっと同じように補助金を出しているのですが、市町によってはそういうものは止めているところもあります。</p> <p>敬老会の実態で言うと、例えばある地区では出てくるのは1/6くらい、物を配る地域もあれば弁当を配る地域もあり、それで皆さん喜ぶのかという気がします。その予算を自治会なりまち協なり、高齢者のふれあいサロンといった具体的なところにもう少し変えてもらいたいです。</p> <p>75歳以上の方が7千人くらいでしょうか、一律に1人何千円を配る、今はもうそういう時代ではないのかなと思います。それだけでもかなり見直しになるので、もう少し有効に福祉や地域の方に使えるような予算に変えていくということも、ぜひ検討していただければと思います。</p>
事務局	<p>敬老金につきましては、過去はかなりの階層を定めて、それらの年齢の到達した方へ支給していました。現在はそれをかなり圧縮しています。敬老会等を実施するときに、年に1回これを楽しみにされる方もおられる中で、行革の一環として支給年齢をかなり間引いて少なくしています。</p> <p>これからさらに圧縮するのが良いのかどうか、福祉保健部とも協議をしながら、検討させていただきます。</p>
会長	<p>止めた方が良いということではなくて、例えばまちづくり協議会が敬老会をやるといふのであれば、まちづくり協議会の予算の中に入れて実施してもらうとか、工夫がいるのでは。一律に配るのが有効に役立っているのかと言えば、私はそうは思いません。</p> <p>地域でふれあいサロンなどをもう少し活発にできるように、地域で集まる場所をまちづくり協議会で作ってくださいますとか、そういったところに予算を配分していけば、また違う形が出てくるのではないかと思います。</p>
会長	<p>それでは(1)についてはよろしいでしょうか。1時間半ほどかかりましたが、いろんな御意見ありがとうございました。</p>
(2) 事務・事業評価について	
会長	<p>続きまして、事務事業の評価について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(資料2により説明)</p>
会長	<p>それでは事務事業の評価について、皆さんから御意見、御質問等がございましたら、よろしくをお願いします。</p>

委 員	この事業評価に関して、外部の方に入っていていただいて評価をという、恐らく私が昨年度申し上げたことだと思うのですが、今の説明だと引き続いて検討していくということで、今年度の事業評価に対しても内部評価というお考えでしょうか。
事 務 局	引き続き内部評価ということにはなりますが、担当課以外の違う視点からも評価を検討させていただければと考えています。
委 員	内部評価の中で甘めに見てしまうところを是正して、他課に客観的に見てもらうということを昨年度進められたという認識でよろしいでしょうか。
事 務 局	昨年度につきましては内部評価だけで、他課の評価を行うことはできませんでした。今年度は、できれば他課の視点も入れさせていただければと考えています。
委 員	<p>項目が 269 あって、なかなか評点を出すのも大変な作業ではないかと推察されます。</p> <p>私どもの話を少しさせていただくと、本日、商工会の事業評価委員会というのが、たまたまこれからあるのですが、私も評価をいただく立場ですが、そこは客観性を保つという意味もあって、外部評価委員の方に入っていて、実際に国に認定をいただいた経営発達支援事業を適切に行い、更に数値化として根拠があるかというところまで、厳しく審査いただいております。</p> <p>項目の規模とか、全然次元が違うと言えばそうなのですが、少しその事業評価の中で、客観性を入れられた方が良いのではなかろうかと思えます。</p>
事 務 局	<p>本年度、内部の他課の職員が評価等をできなかったのですが、例えばこちらの 4 ページの 03 商工業の振興という欄がありまして、その中の 04 労働者福祉の向上の中の下から 2 番目、労働金庫預託金事業が産業企画課であり、こちらの評価が C となっています。C といいますと、事業規模・内容または実施主体の見直しの検討が必要ということで、産業企画課の係長以上が内部検討した上で出されています。</p> <p>予算要求の際に、この件について我々も検討しながら、C の評価をどうするかというヒアリングを行っています。これについては利用者が少ないということで、預託金として預け、使う人がいなかったら返ってくるというイメージですが、そこまで市の財源を預託する必要はないのではないかとということで、これを半分に落とさせていただきました。</p> <p>外部には出していないのですが、予算編成時には財政課においてこれらすべてチェックしながら、どういうふうにもっていけば良くなるのか、その辺は一応、財政課においては検討させていただいている状況です。</p>
委 員	<p>今の 269 ある各種事業の中で、似たような項目もあって、そこに C がついてあたり E がついてあたりで、事業の重複を避ける意味でも検討されているということでしょうか。</p> <p>利用率などの具体的な数字も検討されていると思いますが、なかなか数字として見えない部分もあるので、その辺も客観性をもっていただくという意味合いで、発言させてもらいました。</p>

<p>委員 (続き)</p>	<p>確かに、まったく別のところで似たような項目があって、これだけ多くの事業をされているので、事業の見直し、また効率化という意味でも、スクラップアンドビルドをされているというのは良いことだと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>平成 27 年からずっとこの事務事業評価を公開してほしいと言っていますが、この度もまだそういったことができない、内部評価にとどまっているということです。</p> <p>こちらの資料で総合評価が平成 28 年、29 年とありまして、A から E の判定がありますが、これを見ただけでは何のことか分かりません。</p> <p>先ほど意見でありました、PDCA をいかに回すかというところに行く、事務事業評価がやはり 1 丁目 1 番地です。内部で甘い評価があるというのであれば、まったく行財政改革にすらならないと思わざるを得ません。</p> <p>外部評価のことですが、昨年も申し上げましたが、秩父市では職員が 481 名、約 1,500 件の事務事業評価をやっています。その中で関西学院大学の教授に外部評価をしてもらっています。そういう意味では、仁城総務部長にも議会で申し上げているところですが、やはり外部評価がないと、非常に曖昧なチェックになってしまった場合、行財政改革が絵に描いた餅と言いますか、そういったところで終わってしまわざるを得ない。</p> <p>第 4 次行財政改革大綱の時に、事務事業評価をもう 1 度やってみるかとなると、これはいつになったらできるのか。一方で総務部長からは、職員の負担がかかるので非常に難しいと言われていています。そういう意味では、何ポイントかテーマを絞って、トライアルで評価を公表するなり、外部評価していただくなり、こういったところも 1 つの検討課題かと思しますので、研究・調査しなければと思います。もしそれが難しいのであれば、これはやめるしかないと思わざるを得ません。</p>
<p>委員</p>	<p>この評価をするのに、結構な労力を使います。何のためにこれを行っているかという意識のないままやってしまうというところもあります。先ほど意見がありましたように、チェックとアクションが大事だということで、なかなかこれができていないところもあります。</p> <p>今日の協議の中でたくさんありましたが、定員適正化計画で職員数は減り、業務量は増える。また、このようなチェックであるとか、改善するためにそれだけ時間を要しますので、これをどのように簡素化しながらも改善できる方法はないのかというところを考えていかなければならないというのは、課題としてずっと持っているのは事実です。</p> <p>これをどのようにしていくのかというのは、ちょうどタイミング的に、次の計画を立てる時期です。今回の話は第 3 次行財政改革大綱の中で出てきた話ですので、次の計画に向かって、チェックとアクションをどうするのかというところも踏まえて、今年度の中で考えていきたいと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>結果の一覧を見ると、A が非常に多くて、非常に有効な活動ができているような気がするのですが、A のところで「計画どおりに事業を進めるのが適当」となっていますが、1 番後ろの 8 ページを見ると、いろんな項目で評価されており、</p>

委 員 (続き)	<p>「事業の目的は達成されているか」というところが非常に薄まっているというところだと思います。本来、民間企業であれば、目的が達成されたかどうかが一番大きな問題で、これが達成できていなければ他の項目が良くても×です。</p> <p>こういった評価をするのに非常に労力をかけられていると思うので、そういったのを軽減するのであれば、ここで「妥当性」を評価されていますが、元々項目が挙げられた時点で妥当性があるということで挙げられていると思うので、もう1回ここで評価するのは二度手間だと思います。だから目的をしっかりと立てて、何%達成されたか、それを年ごとに、5年計画で100%でいくのであれば1年間で20%必ず達成しなければならない、それができていなければ何か問題があるのであろうというところで、1年1年そういった活動の見直しを行っていかないと、5年経ってもやはり100%には届かない。そういったところを改善していけばいいと思います。</p>
会 長	<p>他にございませんか。</p> <p>それではないようですので、この議題については終わりたいと思います。</p>
5 その他	
会 長	次にその他ですが、何かございますか。
委 員	<p>冒頭で財政課長から話があった、当初は3月末に開催する予定が4月になったということですが、開催日程をもう少し検討することも必要かなと。</p> <p>例えば昨年の場合、年度末で非常に忙しいところもあって、かといって行財政改革審議会が何をやるかという、事業の前年度の比較だとか、今までの目標をどこまで達成できたかとか、そういうところもあるので、もう少し開催日時を検討することも必要かと思えます。</p> <p>先ほども申し上げましたが、今までは前年度予算比でやっていますが、予算というのは1年後には補正で増減することもあり、本来は実際に使ったお金があるべき比較だと思います。そういったところを見て、開催、回数も含めて、検討することが必要かと思えます。</p>
会 長	<p>ぜひよろしくお願いします。去年は資料が当日配られたということもありました。3月というのは非常に忙しいのかなと私も思いながら、膨大な量の資料を、その場で見てなかなか意見というのは言いにくいので、この時期にするのが良いのか、途中で1回やるとか、そういったことも含めて検討していただければと思います。</p> <p>他に御意見ございませんか。</p> <p>ないようですので、事務局にお返ししたいと思います。今日は長時間にわたり、いろんな御意見をいただきましたので、良い話し合いができたのではないかと思います。</p>
6 閉 会	
事 務 局	閉会に当たり、土手副市長が御挨拶申し上げます。
副 市 長	<p>本日はお忙しい中、御出席をいただき、また貴重な御意見、御提言をいただきまして、まことにありがとうございます。</p> <p>先ほどから審議いただいています、昨年度からの宿題がなかなか回答でき</p>

<p>副市長 (続き)</p>	<p>ていない部分が非常に多く、お詫び申し上げます。</p> <p>次の第4次計画に向けて、皆様のこれまでの御意見を真摯に受け止めさせていただき、どのように市民の皆様に分かりやすい形で行革が進んでいるかという部分も踏まえ、資料づくりなど十分に検討させていただこうと考えています。</p> <p>そうした中で、また皆様に、年間何回か審議会を開催させていただき、次の4次に向けての御意見をいただきながら、作成していきたいと考えています。その節は御協力よろしく申し上げます。</p> <p>本日はまことにありがとうございました。</p>
<p>事務局</p>	<p>以上で平成30年度江田島市行財政改革審議会を終了いたします。</p> <p>委員の皆様、お忙しい中、本当にありがとうございました。</p>